

2015年7月3日

大幸薬品株式会社

ネパール地震の被災地支援 大幸薬品、『正露丸』を寄付

この度のネパールで発生した大地震により被災された方々に心からお見舞い申し上げますとともに、被災地域の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

大幸薬品株式会社は、2015年4月25日に発生したネパール地震の被災者支援として、止瀉薬『正露丸』(50粒入)1200個を緊急支援プロジェクトチーム「HELP NEPAL 2015 JAPAN PROJECT」を介して寄付しました。

現地では、緊急支援プロジェクトの発起人であるマノジュ・シュレスタ教授(甲南大学経営学部教授、ネパール教育開発機構(NEDO)代表)が同じく発起人であるプラビン・シュレスタ医師(Norvic Hospital 医師、Founder of Kathmandu Neuro Center 所長)ら医療スタッフと共にネパールの首都カトマンズ郊外の3地域と、さらに被害が最も大きいとされる Sindupalchok 地域(ネパール・チベット国境)の4つの村からカトマンズ市内に避難している方々のキャンプである Hope Camp(軍用ヘリコプターで救出された334人が収容)に届けました。

【寄付品】

正露丸(50粒) 1200個

【提供先】

ネパールの首都カトマンズ郊外の3地域、サク(Sankhu)地域、ブンガマティ(Bungmati)地域、コカナ(Khokana)地域と、カトマンズ市内のキャンプ「Hope Camp」(チベットとの国境の4つの村の334人が収容)

【現地医療スタッフに正露丸を届け、説明をする様子】(写真中央がマノジュ・シュレスタ教授)

